

100mm

C'

100mm

B'

97mm (内側に折り込む面)

A'



今年こそ、いつでもピカピカ★ 簡単お掃除テクニク

前回に引き続き、今回も床掃除をご紹介します。
今号は食べかすや髪の毛は掃除機でもなかなかとれない(>_<)絨毯編です。

① 思っている以上にゆっくりかける

絨毯に掃除機をかける場合、思っている以上にゆっくりかけましょう。
目安は、1平方メートルあたり20秒程度。
20秒って結構ゆっくりです(;´ω´)

そして、一定方向に掃除機をかけずに、十字を描くように掃除機をかけます。
縦方向と横方向に動かすことで、絨毯の毛が起きて、奥に入り込んだゴミや汚れが取りやすくなりますよ。

② 絨毯の髪の毛には びよ〜んと伸びるアレ

絨毯に入り込んで絡まった髪の毛。
これは、掃除機でもなかなか取らずイライラしますよね。実はこれには、ゴム手袋が有効です(^O^)
しかも、びよ〜んと伸びるタイプのゴム手袋を使ってください。



ゴム手袋をはめて、円を描くように絨毯をなでると、髪の毛が面白いように取れていきます♪
伸縮性の高いゴムが髪の毛と接触することで、髪の毛をキャッチしてくれます。

③ 汗や皮脂汚れを落とすには?

絨毯にも汗や皮脂汚れがついていると、黒ずんできます。住居用洗剤を表示通りに薄めてから、雑巾で円を描くように拭きましょう。
絨毯の素材によって使う洗剤が異なりますので注意して下さいね。

- 化学繊維が素材の場合(アクリルなど)…弱アルカリの住居用洗剤を使います。
- ウールの場合…中性洗剤であるおしゃれ着用洗剤を表示通り薄めてから使います。
雑巾がけをした後は、風通しを良くしてからじゅうたんをよく乾かして下さいね(*▽*)

それでもやはり…目立つ汚れがある、カビが生えている、歩くとキシム、フローリングを新しくしたい、
などなど、
そんな時は、どうぞ遠慮なくお問い合わせ下さいね。

オヒサマ サンサン
0120-013-3030
FreeDial

今月の 花図鑑

父の日に贈る花は何?

母の日に贈る花は何? と聞かれたらすぐに「カーネーション」が浮かびますよね。それでは、父の日に贈る花は何? と聞かれたら、あなたは何か答えますか?
父の日は、母の日と比べると日本に伝わったのも一般に定着したのも、随分遅れています。
ですから、父の日に贈る花を覚えていないとしても、それほど不思議なことではあ

りません。
とはいっても…父の日は、年に1度、お父さんに感謝の気持ちを伝える日!
プレゼントと一緒に花も贈ってみませんか? 父の日の花はこれ!と決まっているわけではないのですが、黄色いバラの花を贈る人が多いですよ♪



カラダすっきり! イキイキ! 健康サプリ

【そら豆】

そら豆の旬は4~6月で、初夏の代表的な味覚ですね。ですが、鮮度落ちがとても早く、収穫した時点から栄養価が落ちていきます。
特にさやから出して空気に触れると、すぐに変色してしまうので、新鮮なものを買って、その日のうちに食べるようにしましょう。
そんなそら豆、茹でて食べる方が多いと思いますが…

茹でだけじゃない! 焼いても美味しい! BBQでも大人気!!

- ①そら豆をサヤごと魚焼きグリルに並べ、さやが焦げるくらい強火で焼く。
- ②両面グリルなら、ひっくり返す必要はないが、片面グリルなら、焦げ目がついたらひっくり返す。
- ③両面が焼けたら、お皿に盛り付ける。塩を付けて召し上がれ注意 食べる時、さやがとても熱いので火傷に気を付けて下さい。



焼くだけでとっても美味しく、おつまみにもピッタリです。
ぜひお試し下さいね~☆

編集長 登田 今月のイチオシ!

編集長の登田が「コレは!」と思った優れたものの商品をご紹介します♪

今回は…【内窓(インナーサッシ)】

実は住宅で最も熱の出入の激しいのが窓! 住まいの熱の約40%弱が窓から逃げ出しています。壁をいくら断熱材にしても、窓から涼しい空気が逃げるのはガッカリですよ。

これからの季節、クーラーの冷房などを逃がさないように断熱対策をしたい時には、家の窓周りの断熱・気密性を高めることが大切です。

そこでオススメなのがインナーサッシ。インナーサッシは今ある窓の内側にサッシと窓を取り付ける方法です。サッシを2枚つけることによって断熱省エネ効果や防音効果があります。
インナーサッシは既存の窓との間に空気の間をつくり、部屋の中と外に空気のファンクションを設けることで、入ってくる熱を少なくし、部屋の中の涼しい空気が逃げるのを最

小限に抑えます。しかも樹脂製なので、アルミの素材のものよりも熱が逃げにくく断熱性能に優れています。
もし気になりましたら「インナーサッシの話、聞かせて?」とご連絡下さいませ。

オヒサマ サンサン
0120-013-3030
FreeDial

